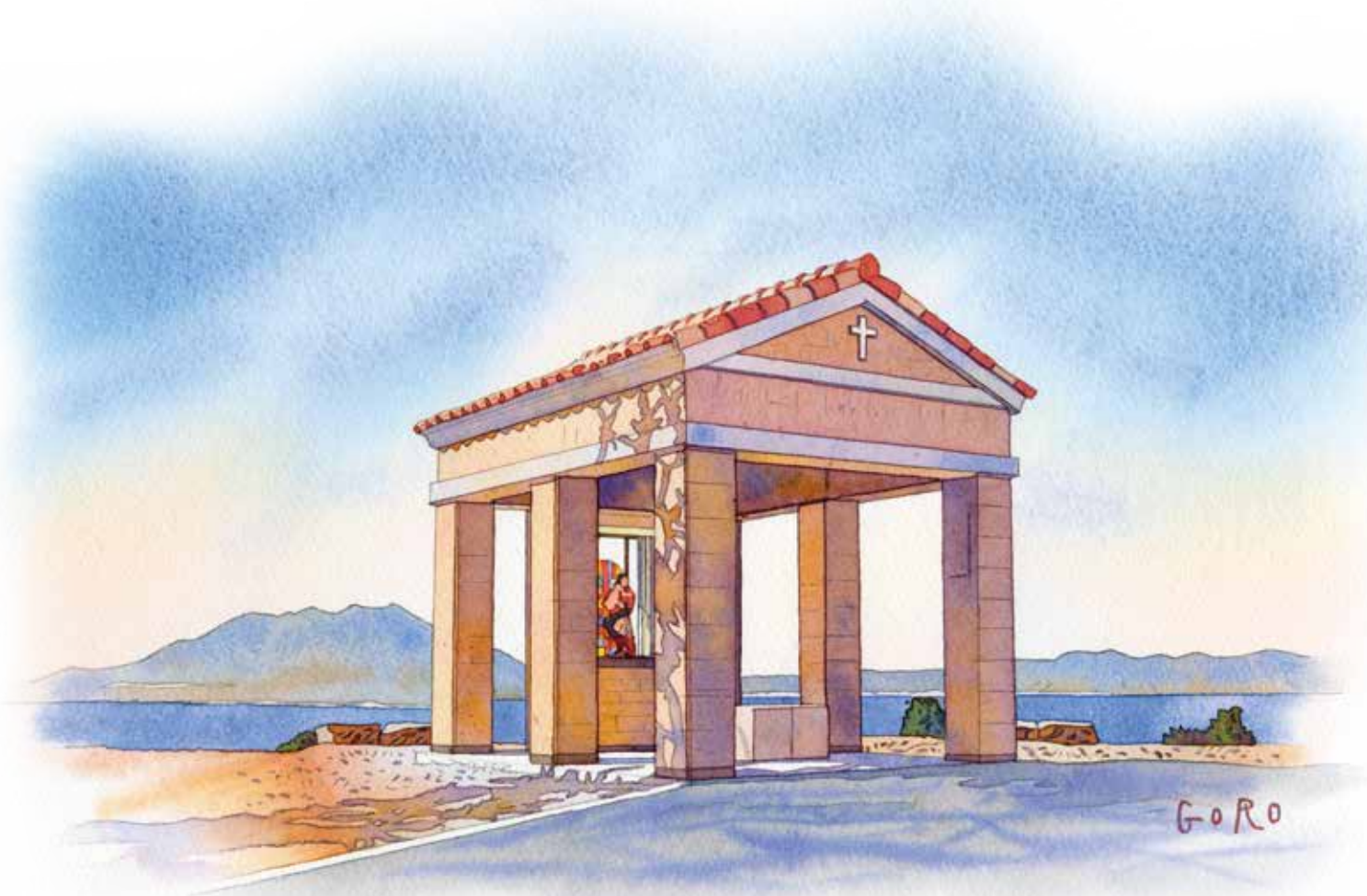


# ちいさな 建設

錦江湾を望む  
日本一小さな礼拝堂



## 開かれた祈りの場

目の前には活火山、桜島。背景に錦江湾（鹿児島湾）の北側奥の海景色がぐりと連なる。大隅半島の霧島市福山の山手にある寒山公園から望む絶景だ。一九八一年、高さ一三メートルの十字架を立て、寒山公園をつくったのは、医師として故郷福山の医療、福祉に尽力した故郷松田兼知さんだった。その十字架の傍らに、二〇二二年三月、「錦江湾を望む日本一小さな礼拝堂」が建てられた。建築面積は一二平方メートル。ギリシャ神殿をモチーフとし、地元産の素朴な表情の加治木石を用い、海に向けて祈るように、ステンドグラスと木彫・手彩色の聖母子像が置かれている。建主は山麓の松下美術館長・松下兼介さん。父は初代館長でもある兼知さんだ。

二代にわたる祈りの場が生まれたきっかけは、兼知さんが一九五九年にイタリアを旅行し、サレルノの丘に大きな十字架が立ち、湾を見下ろす景観に感動したことだ。サレルノも福山も夕陽が海に映える美しさは格別である。小さいながら、宗派を問わず、心を癒す場として訪れてほしいと兼介さんは言う。

**アクセス** 松下美術館（鹿児島県霧島市福山町福山771番地）から車で10分ほど訪れる際には松下美術館に連絡が必要